

プレミアム花壇部門

総 評

審査は、7月15日に行いました。

酷暑の中現地審査に行くと、夏の花々が彩り良く元気に咲き、葉の色も濃く、草勢が良く栽培管理が大変行き届いていることが分かりました。そこには適期播種、土づくり、品種選定と組み合わせ、適期植栽、灌水等、長年の経験や栽培管理技術やノウハウがあつてのことと感じました。活動により、夏場でも花壇を通して地域との交流が工夫して行われていました。

わずかの差で最優秀賞を逃し優秀賞となった、「市井コミュニティ花壇」は花壇苗の選定、植え付け、灌水、除草などの管理作業に優れていました。

優秀賞の寺崎さんの花壇は、宿根草が多い自然風の花壇で昆虫が飛んでいました。また活動の場を富山ライトレールの乗り場近くのプランターの植栽など広げていらっしゃいました。

優秀賞の「花と緑の銀行入善支店棚山地方銀行」の花壇は、雑草や花柄枯れ葉等で堆肥を作り、2～3年で花壇に入れてリサイクルされSDGsと活動費の軽減に努めていらっしゃいました。

優秀賞の「東野尻花と緑の推進協議会」の花壇は、女性のグリーンキーパーさんが入られたためか、例年よりかわいい花壇になっていて親しみがもてました。

優秀賞の「野ぎくの会」の花壇は約300mもあるのに、年間を通じて花が見られるように、植え付け、灌水、除草などの管理作業に大変な努力をされて、今年は新たに種ダンゴに挑戦していらっしゃり頭が下がる思いでした。

優良賞でしたが、「玉成花壇愛好会」は隣の敷地の関係で害虫をハサミ等で取り除いたりして無農薬で育てていらっしゃいました。

優良賞でしたが、「興南中学校教育後援会&生徒会美化実践部」の花壇は、長さ72mもあり、ひまわりの間に皇帝ダリア（11月頃開花）が植えられ長い期間楽しめる花壇でした。土壌改良された区画は他の区画の花より大きく生き生きと育っていました。長い花壇なので一度に土壌改良はできないが計画・実施中とのこと。今後に期待したいです。

＊プレミアム花壇を参考にされる数多くの方に対して、「毒のない植物」「高温や乾燥に強い植物」「生態系に影響を及ぼさない植物」を選ぶことを意識して、お勧めできる植物を選んでいただきたいと思います。涼しげな星形の花を咲かせるイソトマなど有毒植物が花壇に見受けられました。子供やペットが直接触れない場所に植栽し、作業の際ゴム手袋を着用し、枝葉の処理等取り扱いに注意が必要です。

最優秀賞評

射水市の「小杉花作り同好会」の花壇が5年連続最優秀賞を受賞しました。この花壇は、技術的な完成度はもちろんのこと、幼稚園児、デイサービス利用者などと連携し地域の皆さんのまとまりと努力の成果が結果として表れていました。計画の作成から花壇デザイン苗の選定はもちろん、植え付け、灌水、除草などの管理作業全般に皆さんですばらしい花壇を造る意気込みが感じられました。

ただ、健全に生育して見ごたえある植物の横で植え替えしてある苗がちらほら見受けられたこと、活動費のことなど、厳しい意見もありました。

（審査委員長 舘 睦美）